

紀要「環太平洋文明研究」執筆要領

1. 様式

原稿は横書きとする。原則としてデジタルデータと、打ち出し原稿を用意すること。

2. 構成

論文 題名、要旨、キーワード、本文、注、参考文献、欧文要旨・キーワード

研究ノート 題名、要旨、キーワード、本文、注、参考文献、欧文要旨・キーワード

書評 編・著者名、書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価を明示

資料と通信 題名、本文、注、参考文献

3. 要旨

要旨は、日本語は 500 字程度、欧文は 200～300 語とする。

4. 英文タイトル

論文、研究ノート、資料と通信には英文タイトルをつける。

5. キーワード

論文、研究ノートには日欧 5 語程度のキーワードをつける。

6. 章立て

章はⅠ、Ⅱ……、節は 1、2……とする。数字の後に点はつけない。原稿では章の前後は 1 行あけ、節の場合は節の前を 1 行あける。

例 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ (1 行あけ)

Ⅱ 親 族 組 織 と 村 落

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ (1 行あけ)

1 親 族 組 織

7. 文献引用

本文中および注の文中に下記のように入れる。

(著者名□刊行年：頁数)

同一文献から何度も引用する場合も、ibid、上掲書などとせず、上記方式の表記をくりかえす。

8. 注

注は後注とし、本文中の注見だしに通し番号 1)、2)、…をつける。

注の書式は以下のようにすること。

- 1) □ □ □ □ 、 、 、 、 、 、 、 、
□ □ □ □ □ 、 、 、 、 、 、 、 、
2) □ □ □ □ 、 、 、 、 、 、 、 、
□ □ □ □ □ 、 、 、 、 、 、 、 、

9. 専門語

動物、植物の和名はカタカナ書きとし、学名はイタリックとする。このほか、上付下付などの指定や数式（係数）などはワープロソフトのフォントで指定すること。

10. 図表

本紀要（B5 版）の版面はタテ 207 ミリ、ヨコ 136 ミリである。図表は執筆者がワープロ、パソコンで作製したものをできるかぎりそのまま使用する。

図・写真、表は別紙とし、表題にはそれぞれ通し番号をつける。図・写真、表は、引用、転載の場合は、キャプションの横に（ ）付きで、転載元の書籍名等を入れる。また、掲載許可・借用手続きは執筆者が自身で行なっておくこと。

なお、投稿された原図が、そのままでは技術的に製版できない場合は、書き直しをお願いすることがある。また、印刷後の仕上がり寸法で、1 ページ以内に収まらないような大きい図や表は、分割するなどの方法を講ずること。

11. 参考文献（この参考文献という言葉を用いる。参照文献、引用文献、文献等は不可。）

参考文献は論文末に一括して作成すること。参考文献とは、本文中または注において引用した文献を指す。

文献の配列は著者姓名のアルファベット順か五十音順とする。

ただし、日本語、外国語の文献がそれぞれかなりの数にのぼる場合は、日本語と外国語に分けて列記する。

また、邦訳のみの場合、著者名の下綴をカナ書きの五十音順とする。

記載は以下のようにする。

なお、外国語の雑誌および単行本はイタリックとするため原稿には斜字体で印字するか、あるいは下線を引く。

a) 雑誌論文の場合、著者名（改行）、年号、「論文名」、『誌名』、巻（号）、頁数の順とする。

渡辺公三 2000 「人類学から統治技術へ」『民族学研究』64（4）：492－504。

Howell, Signe 1985 Fomal Speech Act as one Discourse. *Man* (N.S.) 21(1):79-101.

b) 論文集に掲載されている論文の場合、著者名（改行）、年号、「論題」、『論文集名』、編者名、頁数、出版社の順とする。

矢野健一 2015 「日本列島に展開した縄文文化と文化領域—その課題—」『津軽海峡圏の縄文文化』、安部千春、安田喜憲（編）、pp. 36-46、雄山閣。

Mead, Margaret 1955 Implication of Insight—II. In *Childhood in Contemporary Cultures*. Margaret Mead and Martha Wolfenstein (eds.), pp. 449-461. University of Chicago Press.

c) 単行本の場合、著者名（改行）、年号、『書名』、出版社の順とする。

安田喜憲 2004 『世界史のなかの縄文文化 改訂第三版』雄山閣。

Douglas, Mary 1966 *Purity and Danger: An Analysis of Concepts of Pollution and Taboo*. Praeger.

なお、邦訳が出版されている場合は下記のようにする。

Sahlins, Marshall 1985 (1993) *Islands of History*. The University of Chicago Press. (『歴史の島々』山本真鳥訳、法政大学出版局)

邦訳のみを参照した場合は次のとおり。

サーリンズ、マーシャル 1993 『歴史の島々』山本真鳥訳、法政大学出版局。